



# なのはなさくら



第5号

文責 加賀谷久志

## 【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

4月18日（木）に、令和6年度全国学力・学習状況調査が、全国の6年生を対象として行われました。今年度は、国語と算数の2教科に加え、学習や生活に関する質問紙調査（アンケート調査）も実施されました。その調査結果が7月末に文部科学省より公表されました。すでに、テレビや新聞、インターネット等での報道でご存じの方も多いのではないかと思います。

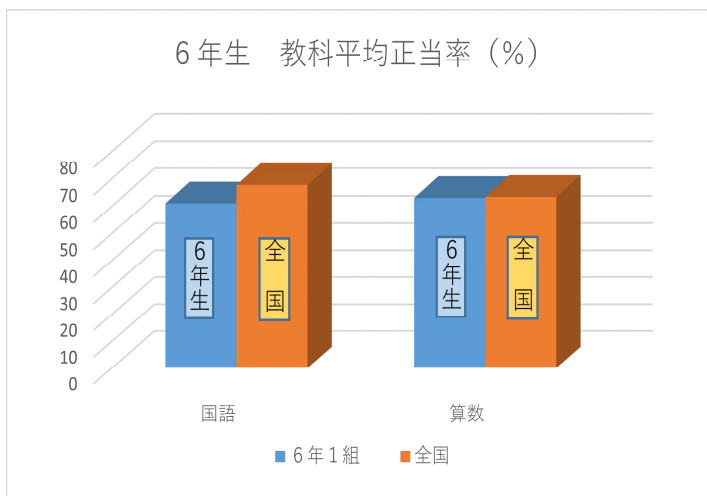
なお、新聞報道によると、今年度の全体的な傾向として、国語においては、目的や意図に応じて自分の考えを書き表す力が不足していることが指摘されています。

また、算数については、速さなどの意味や表し方を理解し、場面や目的に応じて日常生活に生かす力に課題があるとされています。

全国学力・学習状況調査は、6年生のみが対象の調査ではありますが、本校ではこの結果を学校全体の傾向であると捉え、結果を分析した上で、今後の教育活動の改善につなげていきたいと考えています。

本校の調査結果とともに、今後の取組についてお知らせします。

## 1 教科の調査結果から



### 【各教科】

国語については、全国平均と比べて正答率が6.7ポイント下回るという結果になりました。問題別の集計結果からは、目的に応じて相手にわかりやすく伝えることなど、言葉の特徴や伝え方に関する事項について課題が見られました。

算数については、全国平均を0.4ポイントと若干下回ったものの、ほぼ同程度の正答率となりました。解答を判断した理由について言葉で記述する問題に課題がありましたが、データの活用に係る問題について強さが見られました。

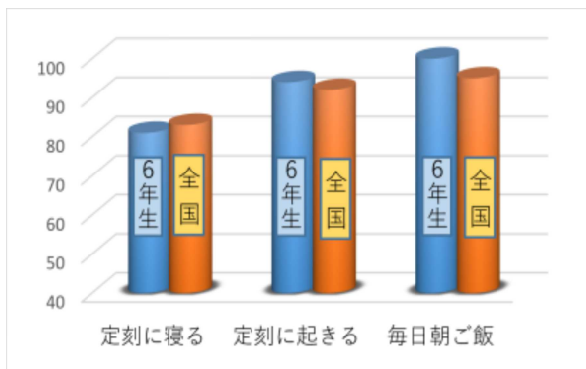
## 2 質問紙調査の結果から

今年度の質問紙調査からは、次の三つの特長が明らかになりました。

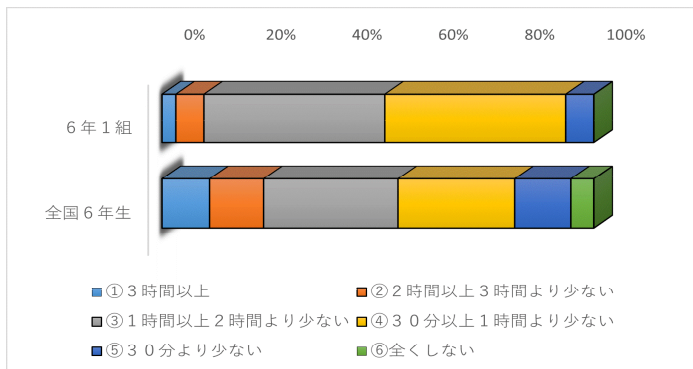
- 一つ目は、子どもたちが日々の学習に対して、意欲的に取り組んでいるということです。国語、算数ともに「勉強が好き」と答えた子どもの割合は高いのですが、中でも英語の学習については 全国平均・県平均を大きく上回り、8割以上の子どもが肯定的な回答をしていました。
- 二つ目は、本校の重点目標である「考えを伝え合い、共に学びを深める」ことにつながる活動について、子どもの意識が高まっているということです。なお、話し合いを行う際に、子どもがICT機器を効果的に活用していることも明らかになりました。
- 三つ目は、本校の目指す子ども像にある「思いやりの心もち、あきらめずに頑張りぬく子ども」に向かって、6年生が望ましい成長を続けているということです。このことについては、次の（3）の項目で紹介します。

## (1) 基本的な生活習慣や学習習慣について

### 早寝・早起き・朝ごはん



### 平日の家庭学習時間



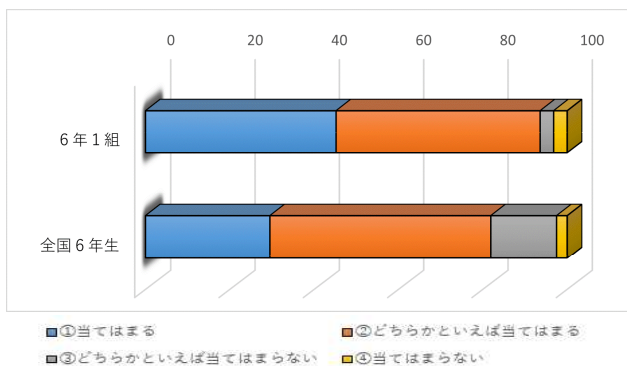
○基本的な生活習慣については、概ねよい傾向が見られます。特に、朝食を毎日食べているかについては、「している」「どちらかといえばしている」の割合が100%でした。  
 ※この項目のグラフは、「している」「どちらかといえばしている」と肯定的な回答をした子どもの割合を示しています。

○家庭学習の時間については、比較的良好な状況でした。「1時間以上」、「30分以上1時間未満」とともに42%と、本校で高学年の家庭学習時間の目安としている「60分」に近い結果でした。家庭学習の習慣化は、学習内容の定着につながる大切な要素です。今後は1時間未満と回答した子どもの家庭学習がより充実するように支援したいと思います。

## (2) 学習について

### ① 課題解決への意欲について

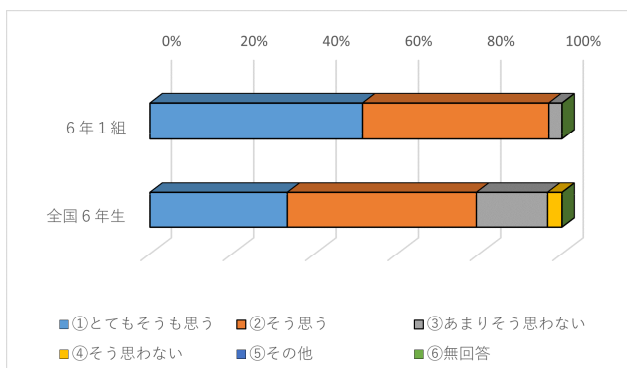
課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



①本校では、課題解決の方法を子ども自身が設定・選択できるようにすることで、子どもが主体的に課題の解決に取り組むことができる授業を目指しています。グラフからは、肯定的に回答した子どもの割合が全国に比べて高いことが分かります。課題解決に向けて学習を見通したり、試行錯誤したりする場面を学習の過程に位置づけることで、子どもの学びに向かう力を育みたいと思います。

### ② ICTの活用について

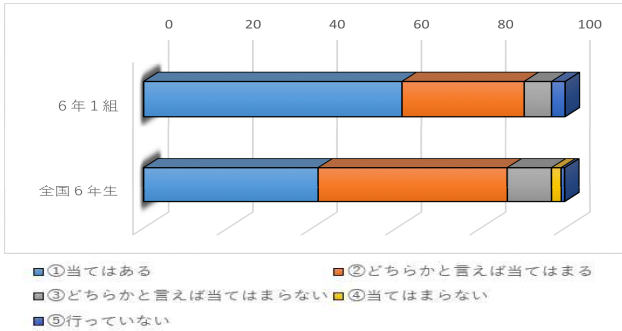
ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができますか。



② ICT機器の活用については、昨年度までの取組の成果が表れていることがグラフから分かります。また、考えを伝え合う場面のみならず、分からないことを調べる、考えを比較するなど、様々な学習の場面においても同様の結果が表れていました。今後は、考え方を更に一歩進めて、子どもが自由な発想で日常的にICTを活用する授業はどうあればよいのかという点について、実践を通して探っていきます。

### ③話し合う活動について

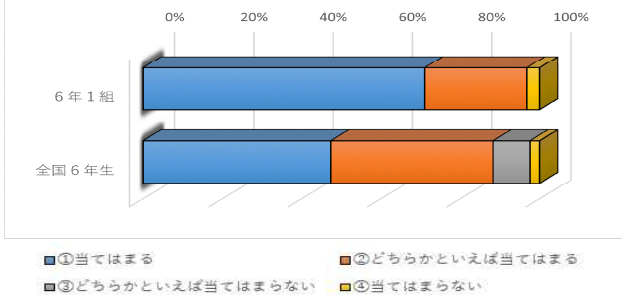
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしていますか。



③本校では、「課題に対する自分の考えをもち、互いに伝え合いながら学びを深める子ども」を、育てたい子どもの姿として設定し、授業改善に取り組んでいます。話し合う活動に肯定的な回答をした子どもは90%であり、全国平均とほぼ同じ割合を示しています。話し合いには、自分の考えを広げたり、深めたりする効果があります。これからも、課題解決の課程に対話的に学ぶ場面を意図的に設定したいと思います。

### ④道徳科について

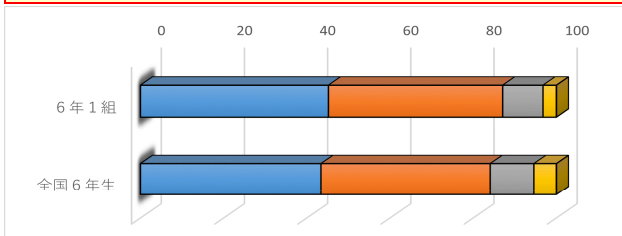
道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級で話し合ったりする活動に取り組んでいますか。



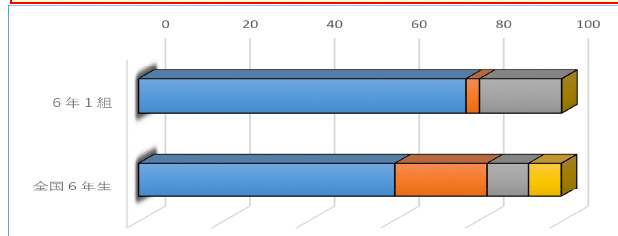
④本校では「考え、議論する道徳」の実現に向けて授業実践を重ね、全教職員で研究を進めてきました。道徳の時間において考えを深めたり、話し合ったりする活動に肯定的な子どもの割合は97%と全国を大きく上回っています。今後も、子どもの多様な感じ方や考え方を引き出し、対話により深める道徳科の授業づくりを推進します。

### (3) 自分自身について

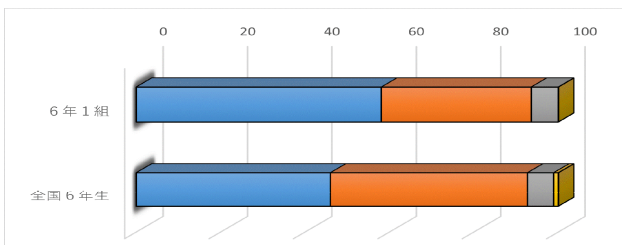
自分にはよいところがあると思いますか



将来の夢や目標をもっていますか



人が困っているときは、進んで助けていますか



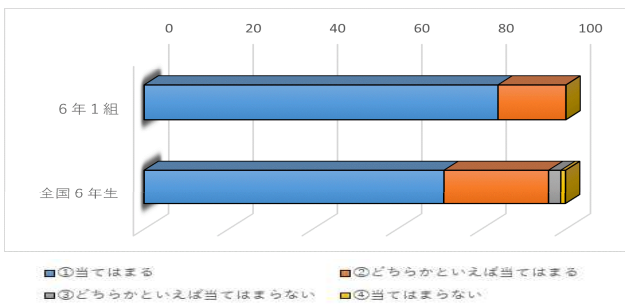
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか



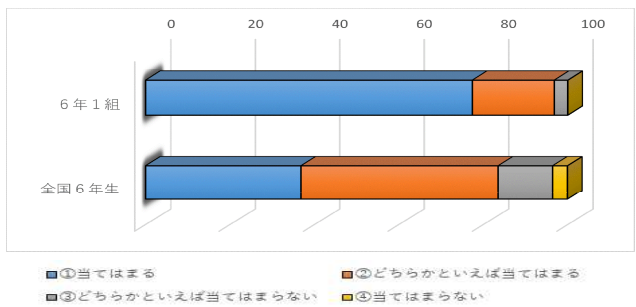
○ (3) には、子どもが自分自身をどのように捉えているのかについてまとめました。4つの項目について、肯定的な回答をしている子どもの割合を見ると、全国平均とほぼ同じ傾向にあることが分かります。将来の夢や目標に係る質問については、「当てはまる」と回答した割合が全国を大きく上回っていますが、約2割の子どもが否定的な回答をしています。様々な体験活動などの取組を自己の将来につなげるための要として、特別活動の充実を図りたいと思います。

#### (4) 地域とのつながりについて

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



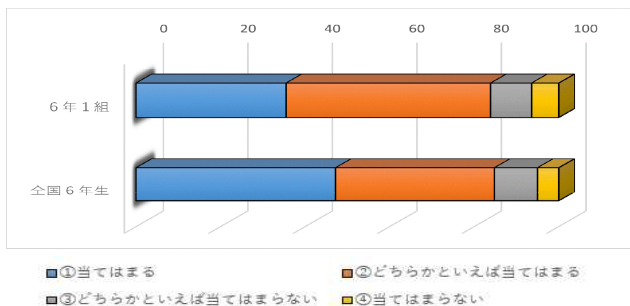
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



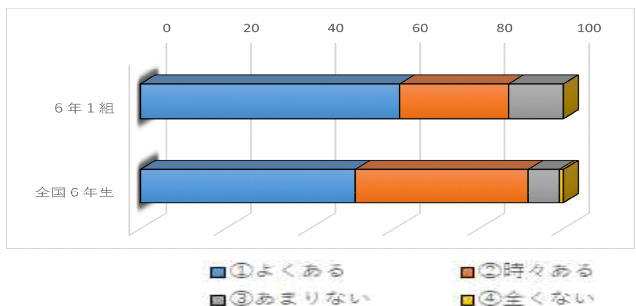
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問には、全ての子どもが肯定的な回答をしていました。学校のみならず、家庭や地域コミュニティでの活動を通して、他者と関わることのよさや、集団の中で役割を果たすことの意義について、実感を伴った理解を深めている様子が表れているものと思います。
- また、「地域や社会のために何かしてみたい」と考えている子どもの割合は、全国平均を大きく上回っています。本校では、総合的な学習の時間に係る様々な体験活動、クラブ活動、読み聞かせ活動など、多くの場面で地域の皆様から御協力をいただいています。このように、自分たちは地域の方々に支えられているという思いが、自分も地域の一員として貢献したいという思いにつながっているものと考えます。その思いを、総合的な学習の時間のまとめとして表現したり、発信したりできるとよいのではないかと思います。

#### (5) その他について

学校に行くのが楽しいと思いますか



普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



- 「学校に行くのが楽しいと思いますか」という質問については、ほぼ全国平均と同じ傾向が見られました。比較的良好な結果ではありますが、15%の子どもは否定的な回答をしています。また、13%の子どもが、普段の生活の中で幸せな気持ちになることはあまりないと回答しています。
- 本校では、日々の観察や対話、さわやかアンケートなどを通して、子どもの不安や悩みについての早期発見・早期対応に努めています。併せて、共感的な人間関係の育成、安全・安心な風土の醸成など、生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくりを進めることにより、子どもが明日も登校したくなる魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

### 3 今後の取組

- 今後も次の三つを重点に、課題の改善に取り組めます。
- ①「自分の考えを伝え、学びを深める力の育成」を目指した授業づくりを進めます。ICT等を活用した課題解決の過程を通して、課題に対する自分の考えをもち、他者と伝え合うことで考えを広げたり深めたりすることのできる授業を目指します。
  - ②温かな関わりと互いに認め合える居心地のよい学級・学校づくりを行います。他者と関わる場を意図的に設定し、互いに認め合い、支え合う集団づくりを進めます。子ども一人一人の個性や多様性が尊重され、安心して生活できるよう配慮します。
  - ③目標に向かって頑張りぬくたくましい心を育む教育活動を推進します。学校行事などで自分の役割を自覚し、目標をもって活動できるよう指導していきます。道徳科や特別活動において、自身の将来の生き方について考える活動を重視します。